

LED
リモコンフォロースポットライト
LRC-200
取扱説明書

目次

	ページ
1. 特徴	1
(1) 灯体 (LRC-200)	1
(2) 専用コントローラー (URC/LRC-DCB)	1
2. 安全にお使いいただくために	2
警告	2
注意	3 ~ 4
3. 本体表示銘板と表示内容	5
(1) 本体表示銘板	5
(2) 表示内容	5
4. 機器構成	6
5. 各部の名称	7
(1) 灯体	7
(2) 灯体内部	8
(3) 専用コントローラー	9
6. セッティング	10
(1) 灯体の設置	10
(a) 常設	10
(b) ハンガー吊り (オプション)	10 ~ 11
(2) 専用コントローラーの設置	12
(a) 埋め込み	12
(b) 据え置き (オプション)	12
(3) 接続・結線	13
(a) 専用コントローラー	13 ~ 14
(b) 調光卓 (DMX卓)	15
(4) DMXファーストアドレス設定	16
(5) DMXアドレス仕様	16
(6) フィルタフォルダ (オプション) の取付	17
(7) 灯体のバランス調整	18
7. 各部の操作方法	19
(1) 灯体	19
(2) 専用コントローラー	19
(3) 調光卓 (DMX卓)	20
8. 光学調整	21
(1) ズーム／フォーカス調整	21
9. メンテナンス	22
(1) レンズおよび吸気孔／排気孔の清掃	22
10. 故障診断	23
11. 日常点検項目と修理依頼	24 ~ 25
灯体外観寸法図 (LRC-200)	26
専用コントローラー外観寸法図 (URC/LRC-DCB)	27
URC/LRC-DCB 1台収納BOX外観寸法図	28
URC/LRC-DCB 2台収納BOX外観寸法図	29
12. 主な仕様	30 ~ 31

1. 特徴

(1) 灯体 (LRC-200)













- 白色LEDを光源とする灯体 (ULP-200 と同等) の上下左右動作に加えアイリスシャッタの開閉、電球のON/OFFをリモートコントロール制御できます。
- USITT DMX512/1990*1に準拠したDMX信号を6チャンネル使用してリモートコントロール制御がきます。専用コントローラー (URC/LRC-DCB) およびメモリ機能のある調光卓 (DMX卓) を使用すれば、ポジションの記憶制御が行えます。
*1:United States Institute for Theatre Technology, inc. の略です。
- 灯体毎に、DMXファーストアドレス設定スイッチを搭載しており、複数灯体および他のDMX信号で制御される機器との混在一括制御が可能です。また、DMX信号は、灯体の電源がONの場合は、バッファリングを行い、OFFの場合は、スルーとなりますので、トラブルを生じた灯体の電源を切っても他の機器に影響を与えません。

(2) 専用コントローラー (URC/LRC-DCB)

- 上下 (TILT) と左右 (PAN) のポジションを10ポジションまで記憶再生できます。再生時は、最高速で動作します。
- 灯体と1対1で使用する専用コントローラーで、レクチャー卓に埋め込むタイプです。また、据え置きタイプ (ボックス) もオプションで用意しています。
- アイリスシャッタは、スイッチの1アクションで、全閉および位置指定による開操作ができます。ボリュームツマミによる無段階開閉もできます。
- 上下左右動作は、スピード制御ができます。最低速度は、最高速度の7%の設定になっています。

2. 安全にお使いいただくために

⚠ 警 告

-  ●演出空間用の照明器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。
-  ●器具の本体重量に見合った取付金具を使用してください。
取付金具の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ●器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって、取付けてください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
-  ●集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
-  ●器具の使用角度に制限があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を越えると、器具の破損、電球の破裂の原因となります。
-  ●器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因となります。
-  ●器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
-  ●フィルタホルダの押さえ金具（固定ネジ）を確実にとめてください。
押さえ金具を確実に止めないとフィルタホルダが落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ●フィルタホルダは、適合品を使用してください。
フィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ●器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。
-  ●煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。
-  ●異常の時は、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。

⚠ 注 意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災とLEDの不点灯の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付・設置に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体に落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けしないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具の差し込み枠にフィルタホルダ等を装着する場合は、差し込み枠の許容重量に見合ったフィルタホルダ等を使用してください。
器具本体の破損、フィルタホルダ等が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具はアース接続（D種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- 器具内部の輸送用緩衝材などを取り外して使用してください。
残材があった場合は、器具の破損・火災の原因となります。

4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けには、器具本体に落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けしないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具はアース接続（D種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。
- 器具の差し込み枠にフィルタホルダ等を装着する場合は、差し込み枠の許容重量に見合ったフィルタホルダ等を使用してください。
器具本体の破損、フィルタホルダ等が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

⚠ 注 意

5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電することがあります。
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があります取扱説明書に基づき処置してください。故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないでください。火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。
- 日常点検の他に弊社専門家による定期点検を実施してください。器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

6. 保管時の禁止について

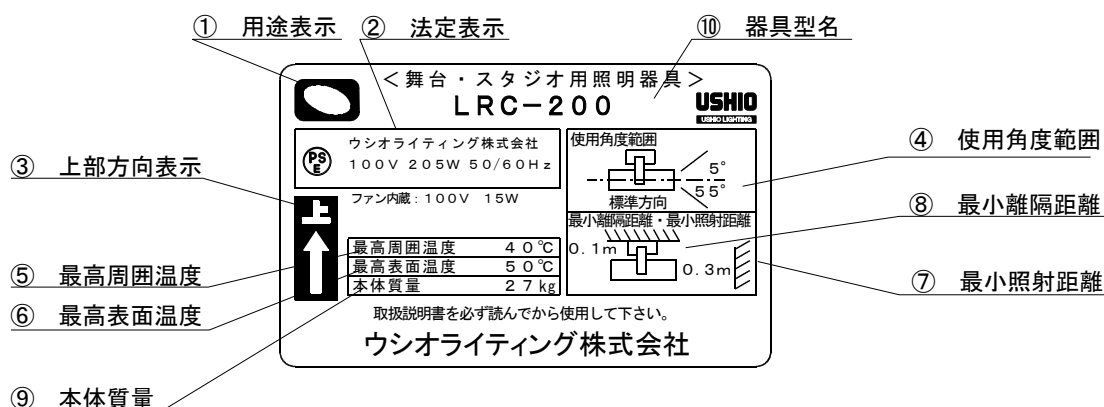
- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。感電・火災の原因となるおそれがあります。

3. 本体表示銘板と表示内容

照明器具の本体に下記の銘板を表示してあります。

取扱いの時には、必ず内容を確認のうえ、安全にご使用ください。

(1) 本体表示銘板

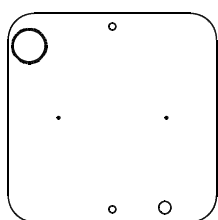


(2) 表示内容

- ①用途表示 : 「演出空間用照明器具」であることを表します。
演出空間の用途以外では使用しないでください。
- ②法定表示 : 電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「定格消費電力」「定格周波数」等を表示しています。
- ③上部方向表示 : 照明器具の上方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
- ④使用角度範囲 : 基準方向に対する使用角度の許容範囲を表示しています。
許容範囲内で使用してください。
- ⑤最高周囲温度 : 通常の使用状態で連続動作させてもよい最高周囲温度を表示しています。
- ⑥最高表面温度 : 使用角度範囲において連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑦最小照射距離 : 通常の連続点灯させたとき、被照射対象物（黒色ボード）の温度が90度に達する最小距離を表示しています。
- ⑧最小離隔距離 : 通常の連続点灯させたとき、可燃物（黒色ボード）の温度が90度に達する最小距離を表示しています。
- ⑨本体質量 : 付属品を含まない照明器具本体（電球を含む）質量を表示しています。
- ⑩器具型名 : 型式名称を表示しています。

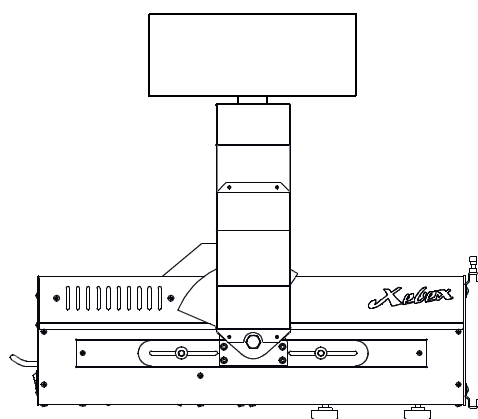
4. 機器構成

- ① 灯体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・LRC-200
- ② ハンガー吊り用天板・・・・・・・・・・・・（オプション）
- ③ 専用コントローラー・・・・・・・・・・・・URC/LRC-DCB
- ④ URC/LRC-DCB 1 台収納BOX・・・・URC/LRC-DCB/B1（オプション）
- ⑤ URC/LRC-DCB 2 台収納BOX・・・・URC/LRC-DCB/B2（オプション）

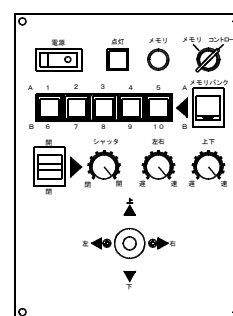


φ × 2
付属品：取付ネジ

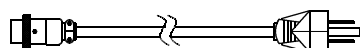
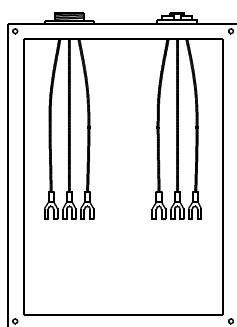
ハンガー吊り用天板（オプション）



LRC-200



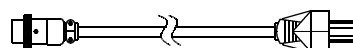
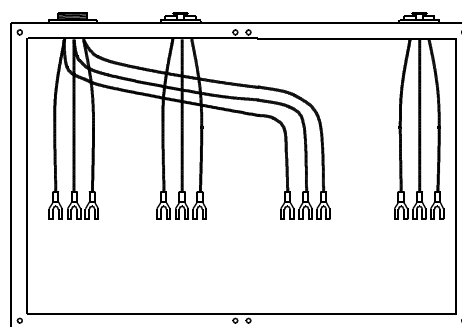
URC/LRC-DCB



φ × 4

付属品：電源ケーブルと取付ネジ

URC/LRC-DCB/B1（オプション）



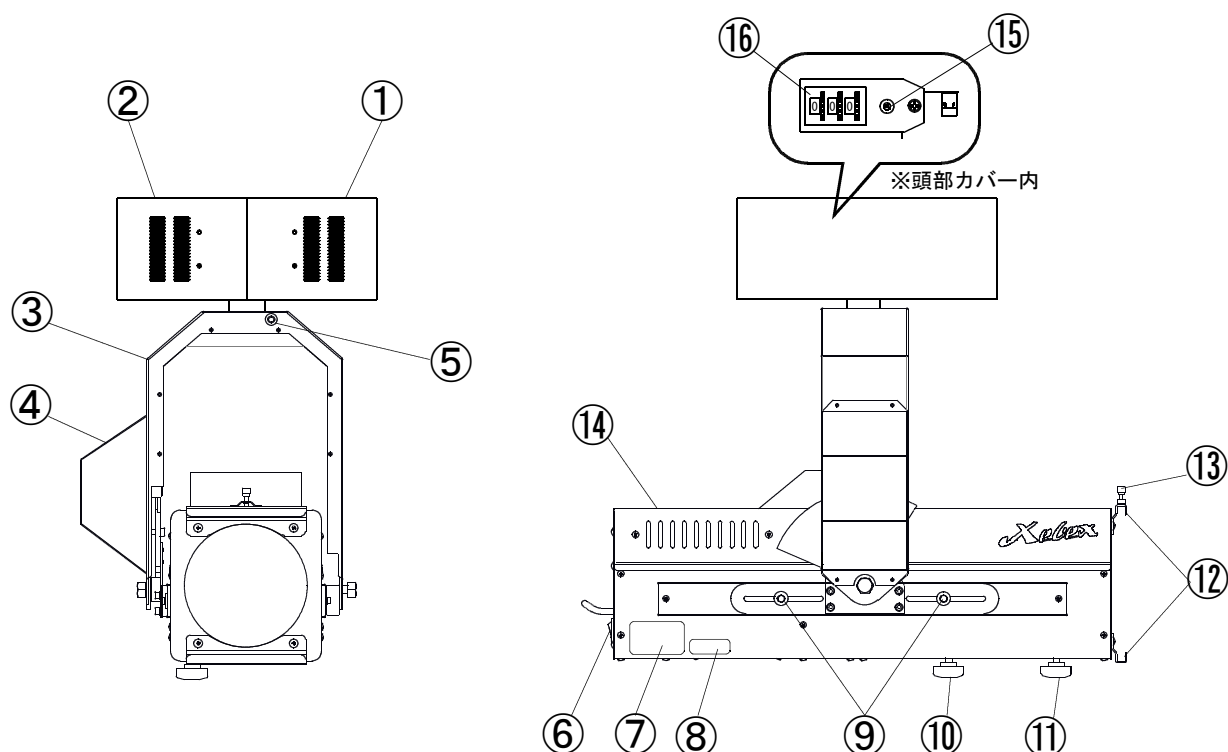
φ × 8

付属品：電源ケーブルと取付ネジ

URC/LRC-DCB/B2（オプション）

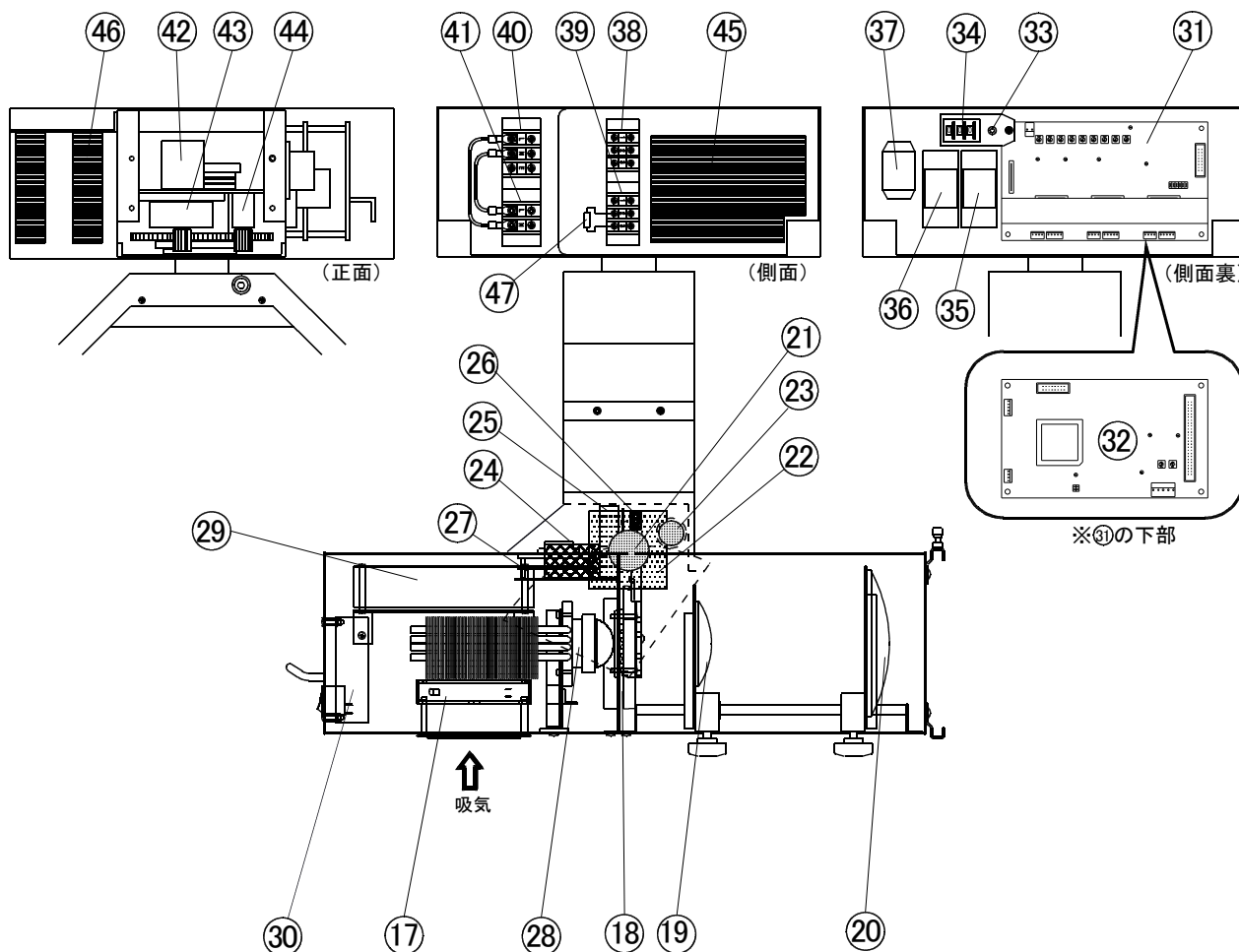
5. 各部の名称

(1) 灯体



No.	名 称	機 能
1	頭部カバー (右)	メンテナンスおよび設置時に開けます
2	頭部カバー (左)	メンテナンスおよび設置時に開けます
3	回転アーム	灯体を支え左右に回転します
4	チルトモータカバー	メンテナンス時に開けます
5	灯体位置 (左右) 調整ネジ	設置方向により投光位置をカバーできない場合に使用します
6	電源スイッチ	電球のON/OFFを行うスイッチです
7	警告銘板	PL表示です
8	機器銘板	製造番号、製造年月が記載されています
9	灯体バランス調整固定ネジ	灯体のバランス (重心) を調整できます (4本)
10	フォーカス調整ハンドル	後玉レンズを前後に調節するハンドルです
11	ズーム調整ハンドル	前玉レンズを前後に調節するハンドルです
12	差し込み枠	カラーチェンジャーやフィルタホルダの取付金具です
13	差し込み枠固定ネジ	カラーチェンジャーやフィルタホルダを固定するネジです
14	本体カバー	メンテナンス時に開けます
15	DMX信号モニターLEDランプ (緑)	DMX信号を受信している場合に点灯します
16	DMXファーストアドレス設定スイッチ	灯体が使用するアドレスの開始チャンネルを設定します
17		
18		
19		
20		

(2) 灯体内部



No.	名称
17	冷却ファン(109S081)
18	アイリスシャッタ (URC-651)
19	後玉レンズ
20	前玉レンズ
21	TILTモータ
22	TILTギアヘッド
23	TILTポテンショメータ
24	IRISモータ
25	IRISギアヘッド
26	IRISポテンショメータ
27	接続基板 (SA-20)
28	LEDモジュール
29	定電流モジュール
30	AC/DCモジュール

No.	名称
31	モータドライブ基板 (DRV-PF3)
32	通信基板 (受信) (DMX-DA)
33	信号モニター用LED
34	サムロータリースイッチ
35	モータ回路ON/OFFリレー
36	ファン回路ON/OFFリレー
37	点灯パワーリレー
38	3P端子台: DMX IN
39	3P端子台: DMX OUT
40	3P端子台: 入力電源
41	2P端子台: 調光電源
42	PANモータ
43	PANギアヘッド
44	PANポテンショメータ
45	DC24Vスイッチング電源
46	DC±15V/5Vスイッチング電源
47	120Ω 1/4W終端抵抗 ※最終灯体取付推奨

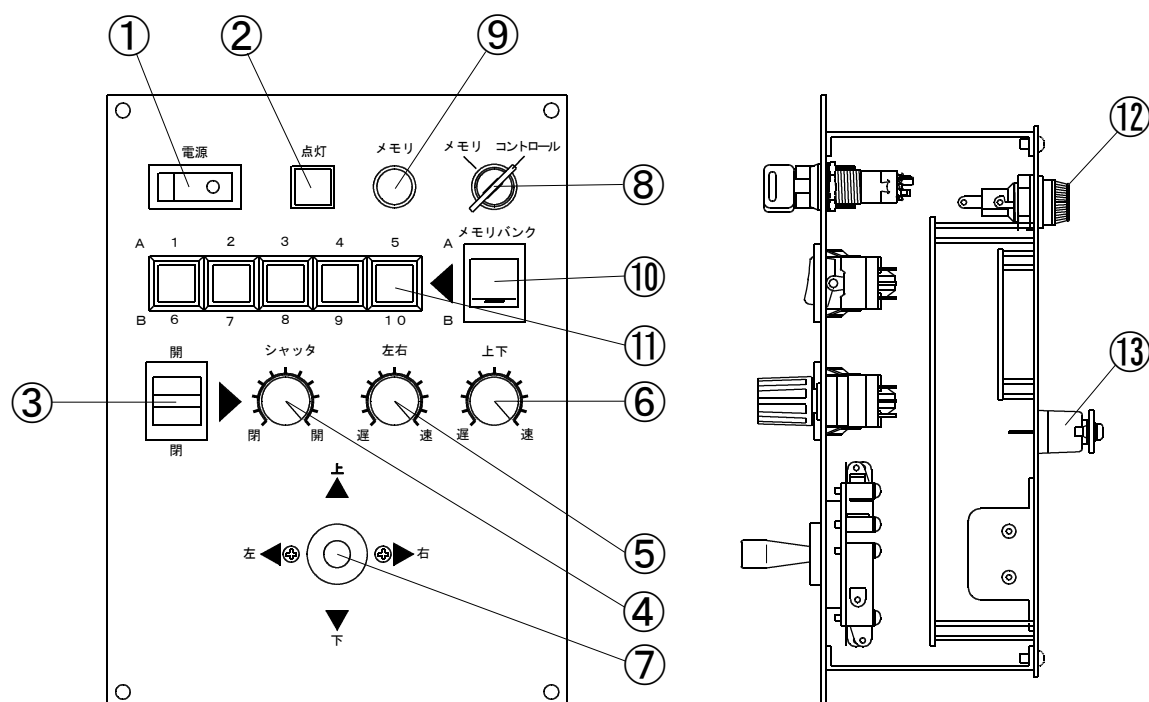
注) LEDユニットは、出荷時に既に実装されています、LED電球として取付及び交換するものではありません。LEDユニットは、3種類のモジュール(部品)として構成されています。

不点灯などで、修理が生じた場合は、弊社にて対応致しますので、お問い合わせください。



・器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。

(3) 専用コントローラー



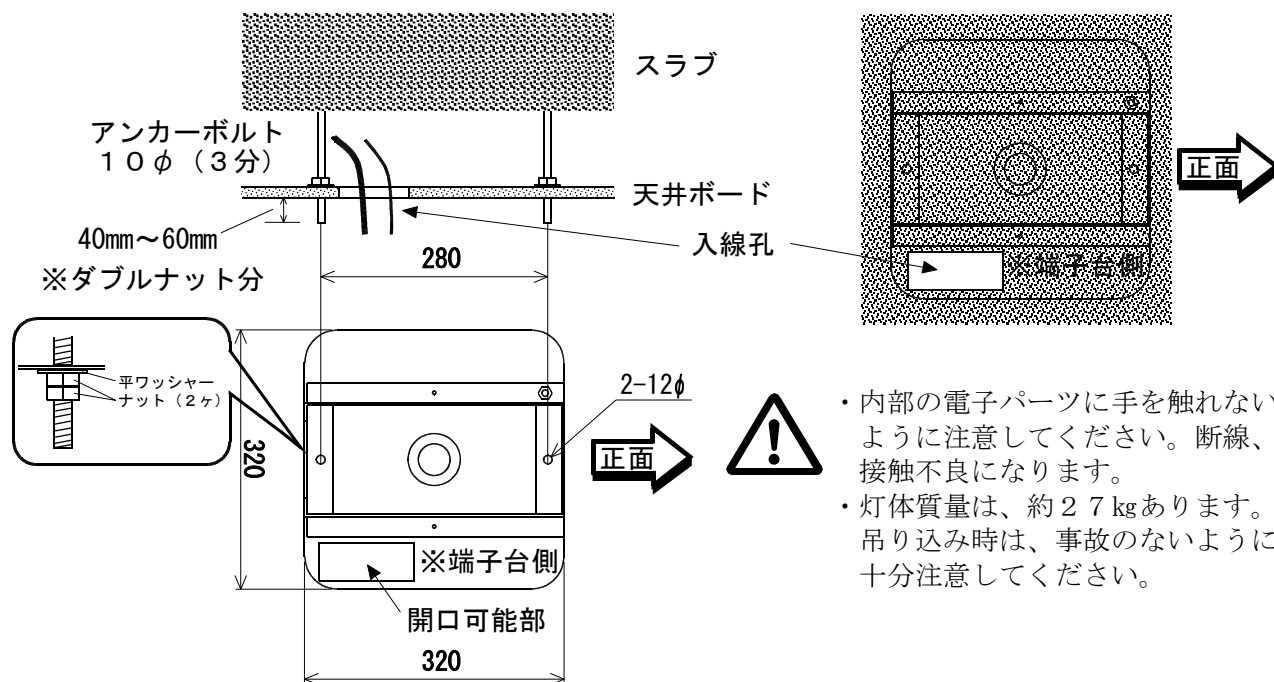
No.	名 称	機 能
1	電源スイッチ	入力電源のON/OFFを行うスイッチです
2	点灯スイッチ	電球のON/OFFを行うスイッチです
3	シャッタ開閉スイッチ	全閉とシャッタボリューム調整位置まで開けるスイッチです
4	シャッタ開閉調整ボリューム	シャッタの開閉により投光円の大きさを調整します
5	左右スピード調整ボリューム	灯体の左右 (PAN) スピードを調整します
6	上下スピード調整ボリューム	灯体の上下 (TILT) スピードを調整します
7	ジョイスティック	灯体を上下 (TILT) 左右 (PAN) に動かします
8	キースイッチ	メモリ記憶操作と通常操作の切替を行うスイッチです
9	メモリスイッチ	メモリ記憶操作のための1アクション追加スイッチです
10	メモリバンク切替スイッチ	1バンク5メモリのA/Bバンク切替を行うスイッチです
11	メモリボタン	メモリの再生操作 (ポジション再生) を行うスイッチ
12	ヒューズホルダ	電子回路を保護します (ヒューズ3A FAST 5×20)
13	7P端子台	商用電源線 (AC100V) と信号線 (DMX) を接続します

6. セッティング

(1) 灯体の設置

(a) 常設

- ・ 灯体頭部のカバー（４本のネジ）を外して取り付けます。
- ・ 施工段階で、スラブ等に強固に固定されたアンカーボルト２本により、灯体を設置します。アンカーボルトには、必ずダブルナットで固定してください。

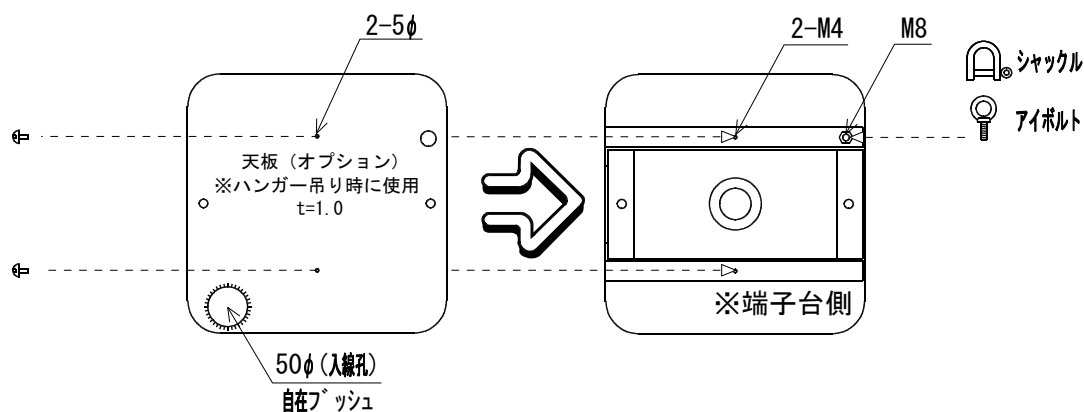


(b) ハンガー吊り (オプション)

灯体をハンガーを用いて吊す場合は、事故防止と埃よけの目的で、天板（オプション）を用意しています。また、落下防止ワイヤー（オプション）及びアイボルト（オプション）、シャックル（オプション）も用意しています。弊社までお問い合わせください。

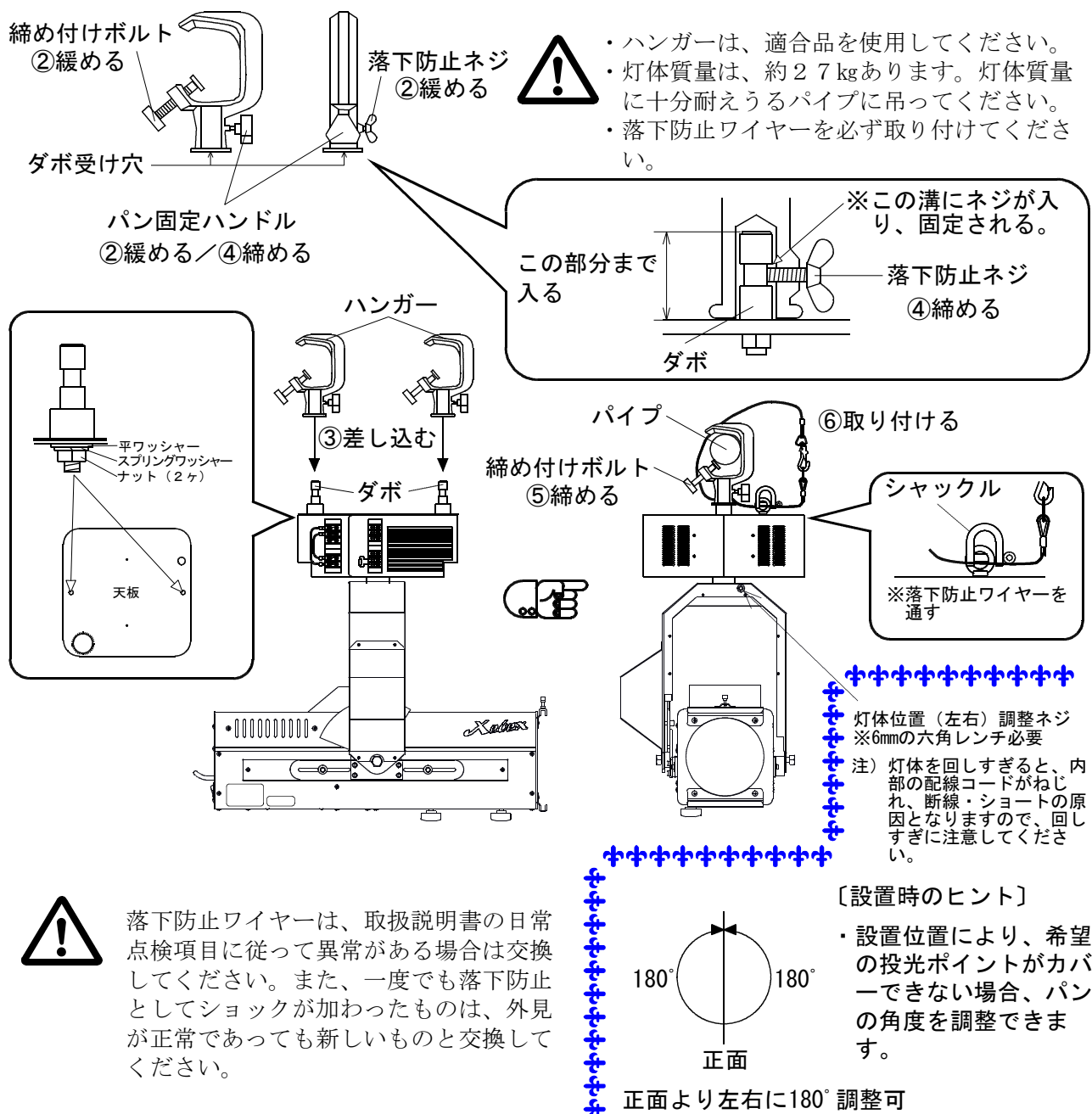
《天板の取付方法》

- ・天板の付属のネジ2本で、天板を取り付けます。入線孔の位置が端子台側にくるように取り付けてください。それから、アイボルトを取り付けます。



代表的なハンガーの取付例です。その他のハンガーをご使用になる場合には、それぞれのハンガーの資料を参照してください。

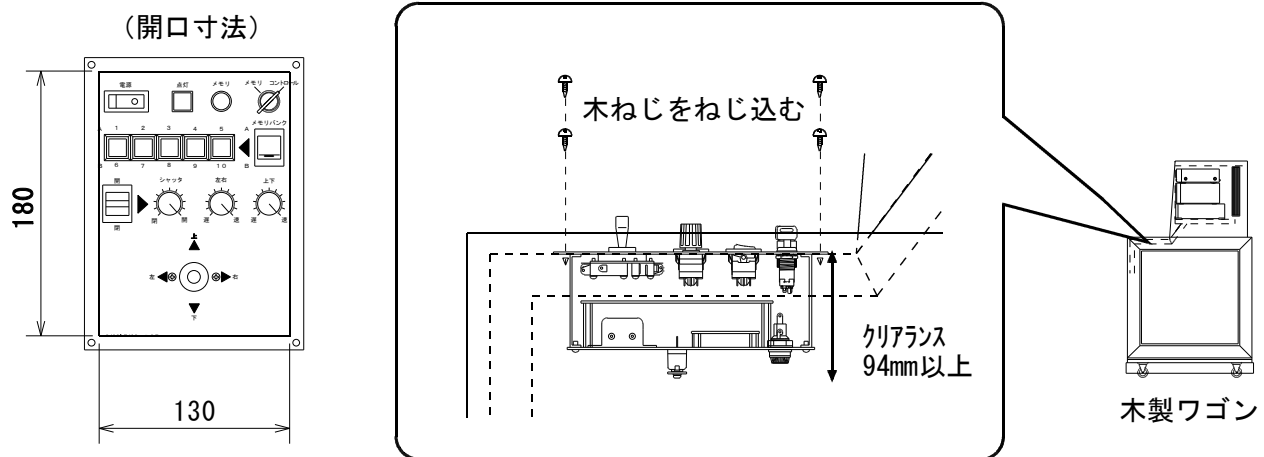
- ① 灯体の頭部カバー（４本のネジ）を外して、ダボを取り付けます。天板を付けている場合は、天板ごと挟み込んで取り付けます。その後、頭部カバーを付けます。
- ② ダボが入るように、落下防止ネジ、パン固定ハンドルを緩めてください。また、締め付けボルトをパイプがセットできるように緩めてください。
- ③ 灯体のダボをハンガーのダボ受け穴に最後までしっかりと差し込んでください。
- ④ 落下防止ネジを確実に締め付けて、ハンガーが外れないことを確認してください。確認した後、パン固定ハンドルを締めてください。
- ⑤ パイプにハンガーを掛け、締め付けボルトで、しっかり固定してください。
- ⑥ 落下防止ワイヤーをパイプに廻し、シャックルを介して確実に取り付けてください。



(2) 専用コントローラーの設置

(a) 埋め込み

専用コントローラー（URC/LRC-DCB）は、ワゴンなどに埋め込むタイプとして設計されています。4mmの木ねじ4本を使用して取り付けます。

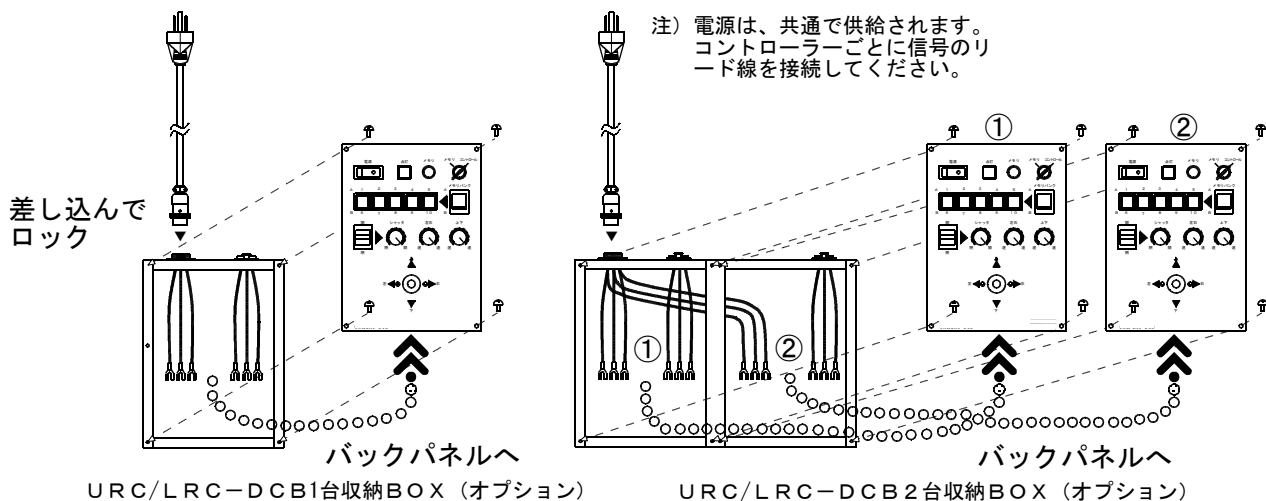


(b) 据え置き（オプション）

専用コントローラー（URC/LRC-DCB）をボックスに埋め込むことで、据え置きタイプとして利用できるように、オプションでボックス（別売）のみを用意しています。1台用の1台収納BOXと2台用の2台収納BOXがあります。付属品として電源ケーブルと取付ネジが付いています。+ドライバー一本で組み立てられます。

《組立方法》

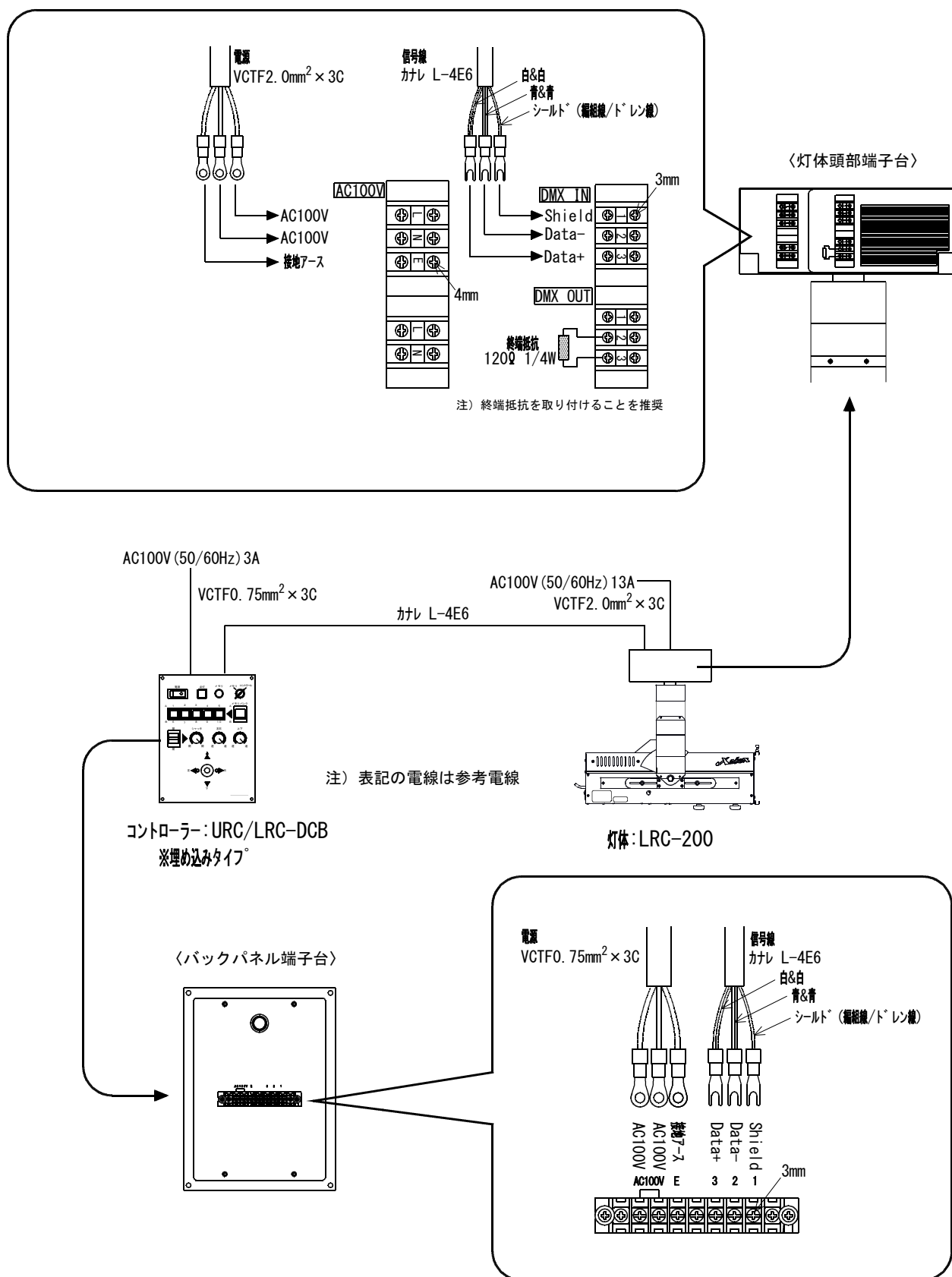
- ・チューブ番号通りにY端子をコントローラーの端子台へ接続してから、ボックスへ収納し、ネジで取り付けます。

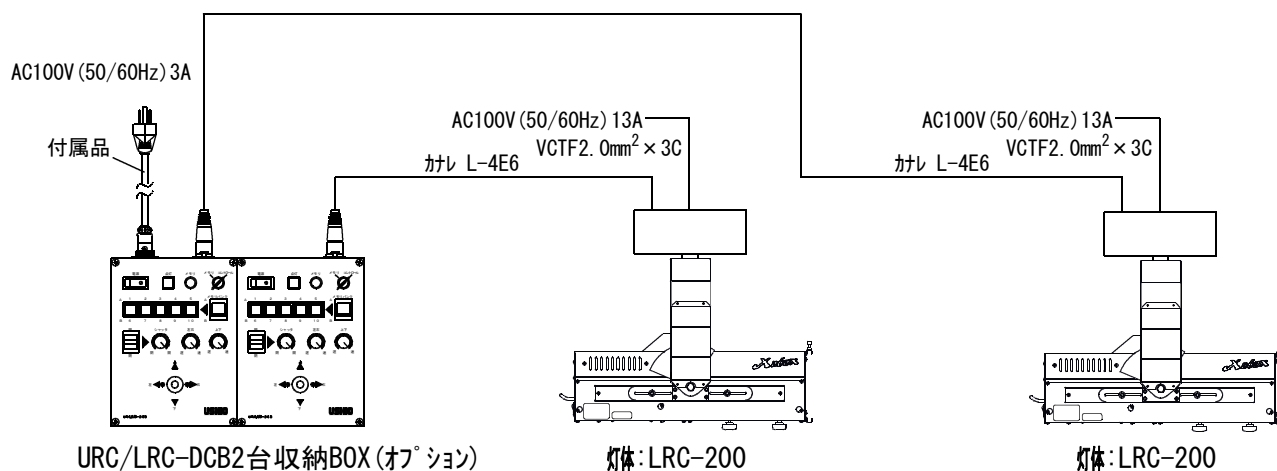
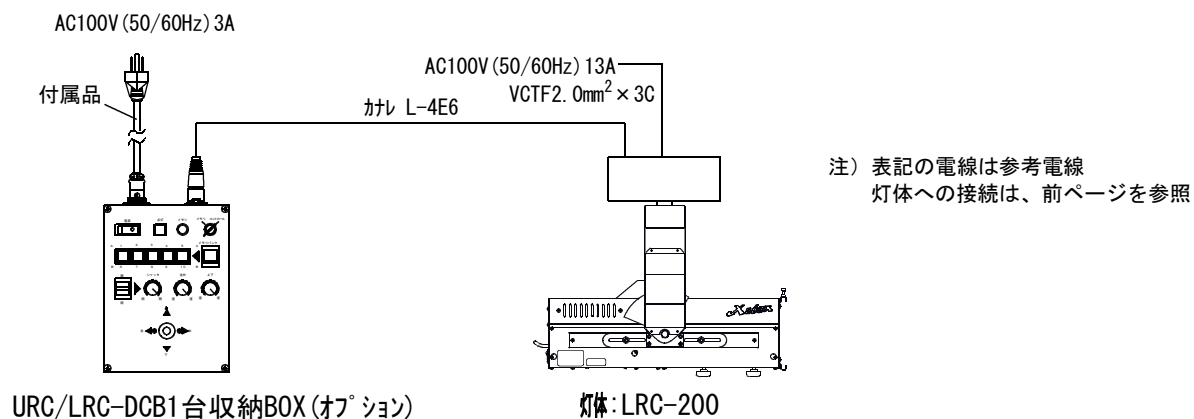


	チューブ番号	端子台番号
電源	AC100V	→ AC100V
	AC100V	→ AC100V
	E	→ E (接地アース)
信号	1	→ 1 (Shield)
	2	→ 2 (Data-)
	3	→ 3 (Data+)

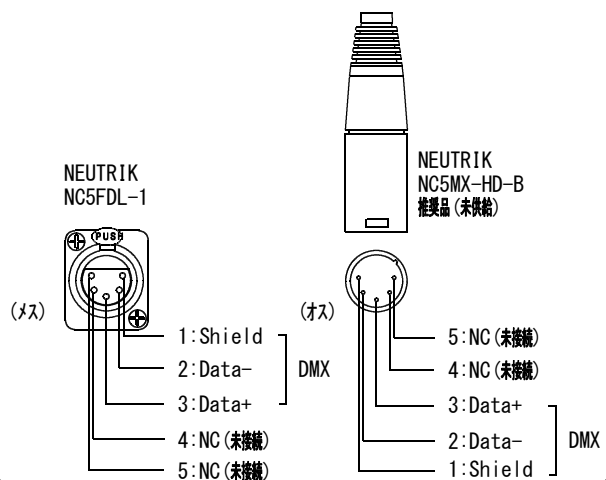
(3) 接続・結線

(a) 専用コントローラー

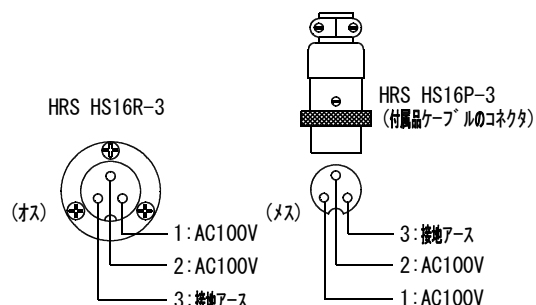




〈信号接続コネクタ仕様〉

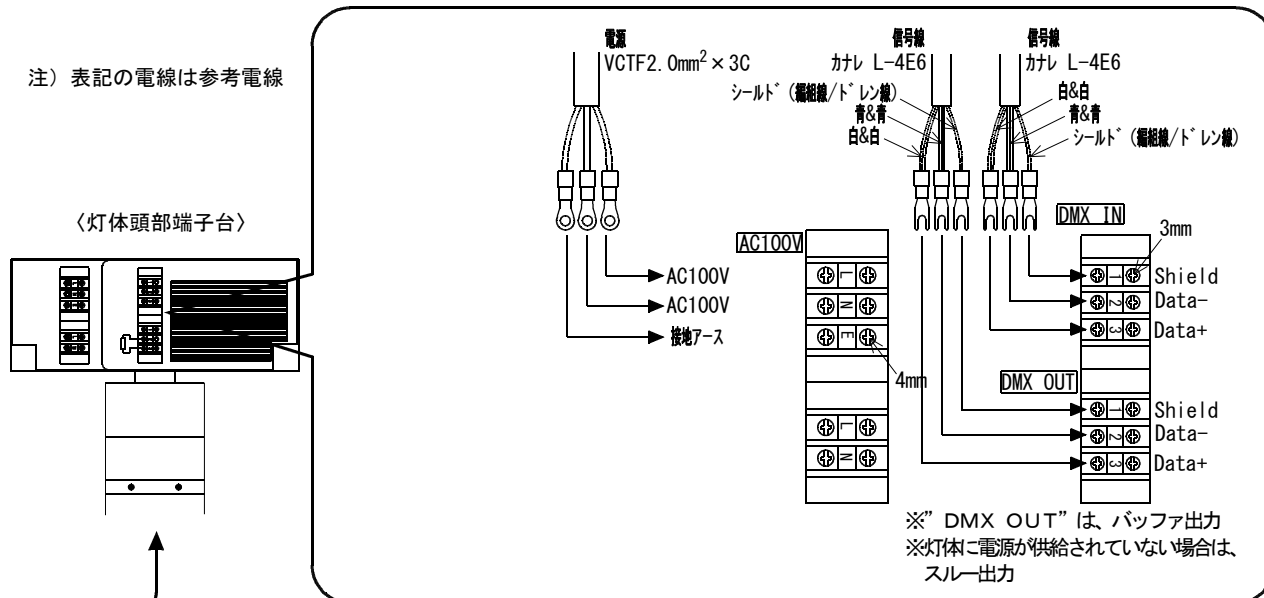


〈電源接続コネクタ仕様〉



(b) 調光卓 (DMX卓)

注) 表記の電線は参考電線



AC100V (50/60Hz) 13A
VCTF2. 0mm² × 3C

ケーブル L-4E6

AC100V (50/60Hz) 13A
VCTF2. 0mm² × 3C

ケーブル L-4E6

AC100V (50/60Hz) 13A
VCTF2. 0mm² × 3C

ケーブル L-4E6

※最大32灯まで

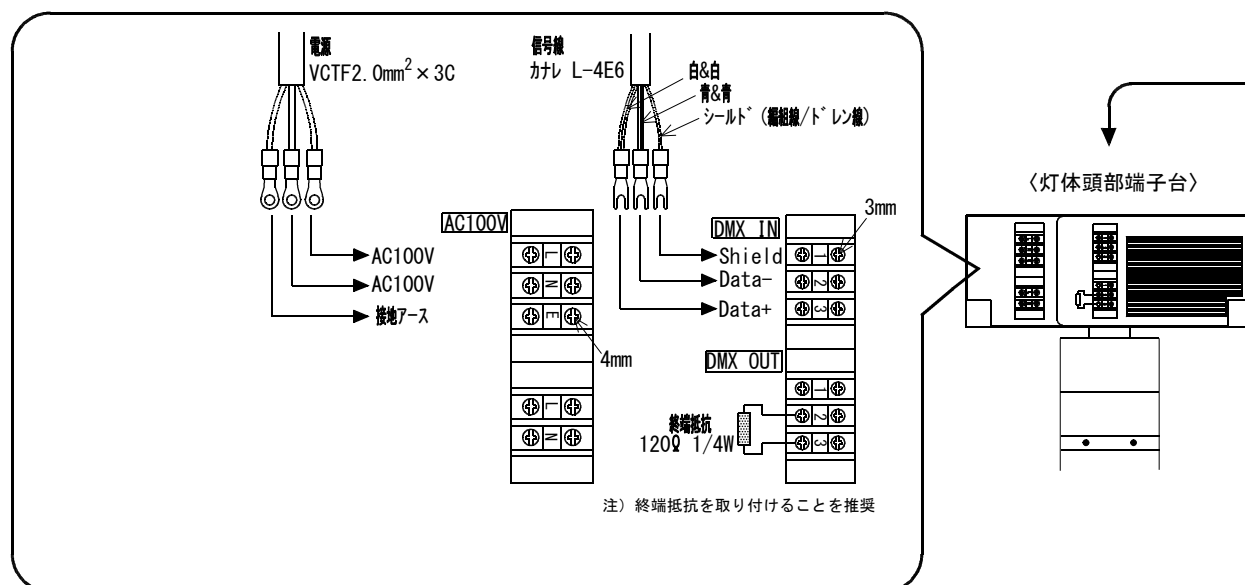
灯体: LRC-200

灯体: LRC-200

灯体: LRC-200

DMX卓

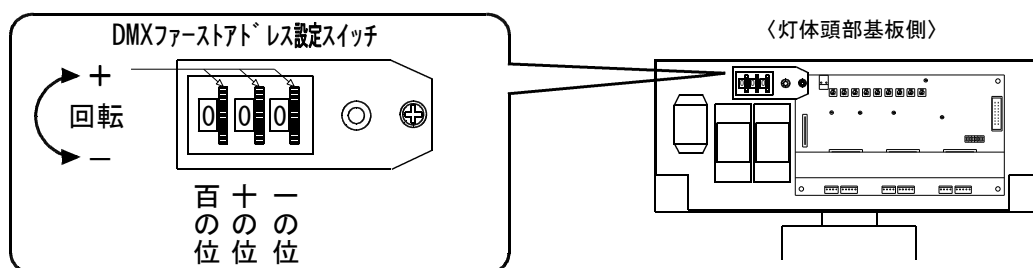
※他のDMX器具を混在させる場合や他の電源などが複雑に交錯する環境 (仮設現場など) では、Belden (9841) の信号ケーブルの使用を推奨します (弊社供給可能)。
仕様: 24AWG (7×32) 硬銅1種ポリエチレン絶縁体, ツィスト7, 編組線シールド, アルミラップシールド, 24AWG硬銅ドレン線クロームメッキ, PVCシース



(4) DMXファーストアドレス設定

灯体が使用するアドレスの開始チャンネルを設定します。標準コントローラーを使用する場合は、常に”001”（出荷時）の設定となります。

DMX卓を使用する場合は、割り当てるチャンネルを設定します。1灯体につき6チャンネル使用しますので、連続してチャンネルを割り当てる場合は、6の倍数となります。ロータリースイッチを回転させてチャンネル設定を行います。



連続して割り当てる場合の参考式：

$$\text{設定チャンネル} = (\text{割当開始チャンネル}) + (\text{灯体番号} - 1) \times 6$$

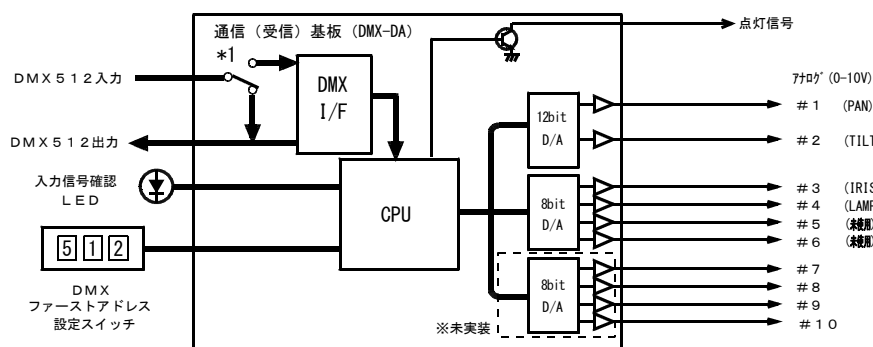
(5) DMXアドレス仕様

下表にDMXアドレスを示します。PANとTILTは、2バイト制御となっており、微調が可能です。

《DMXアドレス表》

1	P A N	高分解能出力 (4096分解)	粗調	# 1
2			微調 (粗調の1/16)	
3	T I L T	高分解能出力 (4096分解)	粗調	# 2
4			微調 (粗調の1/16)	
5	I R I S	256分解能出力		# 3
6	L A M P	256分解能出力	5 0 %以上で点灯	# 4
7	予約	256分解能出力	D / A実装分	# 5
8	予約	256分解能出力	D / A実装分	# 6
9	予約	256分解能出力	D / A未実装	# 7
1 0	予約	256分解能出力		# 8
1 1	予約	256分解能出力		# 9
1 2	予約	256分解能出力		# 1 0

【ブロック図】

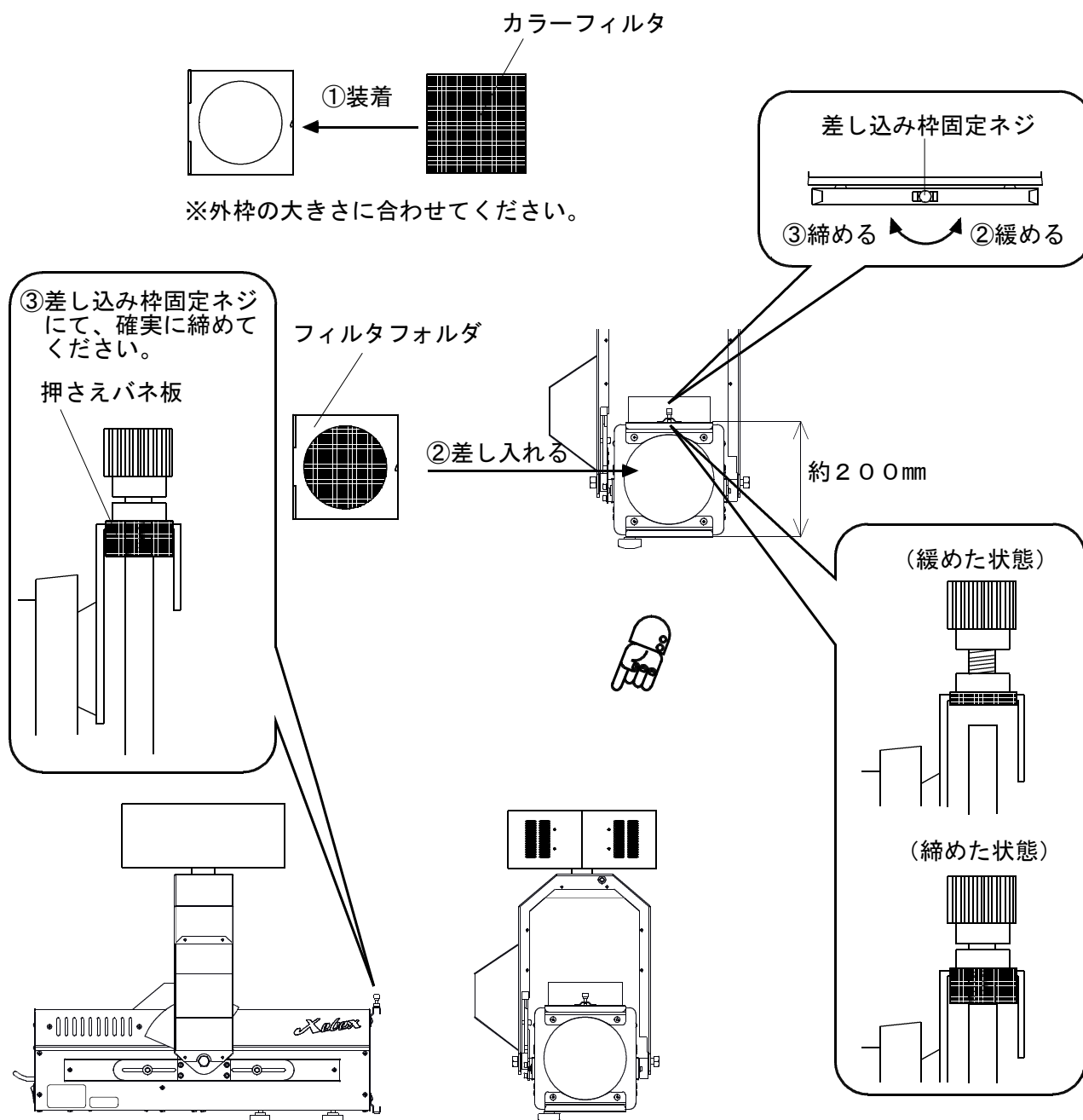


*1：灯体電源が入っている時は、
バッファリング出力。入って
いない場合は、スルー出力。

モータ—駆動基板(DRV-PF3)～

(6) フィルタフォルダ（オプション）の取付

- ① フィルタフォルダの大きさに合わせてカットしたカラーフィルタをフィルタフォルダに装着してください。
- ② 差し込み枠固定ネジを緩め、フィルタフォルダを側面から差し入れてください。
- ③ 落下防止のために、上部の差し込み枠固定ネジを確実に締めてください。



☆その他の機器も同様な要領で、確実に取り付けてください。



フィルタフォルダ及びその他の機器を取り付ける場合は、適合品を使用してください。

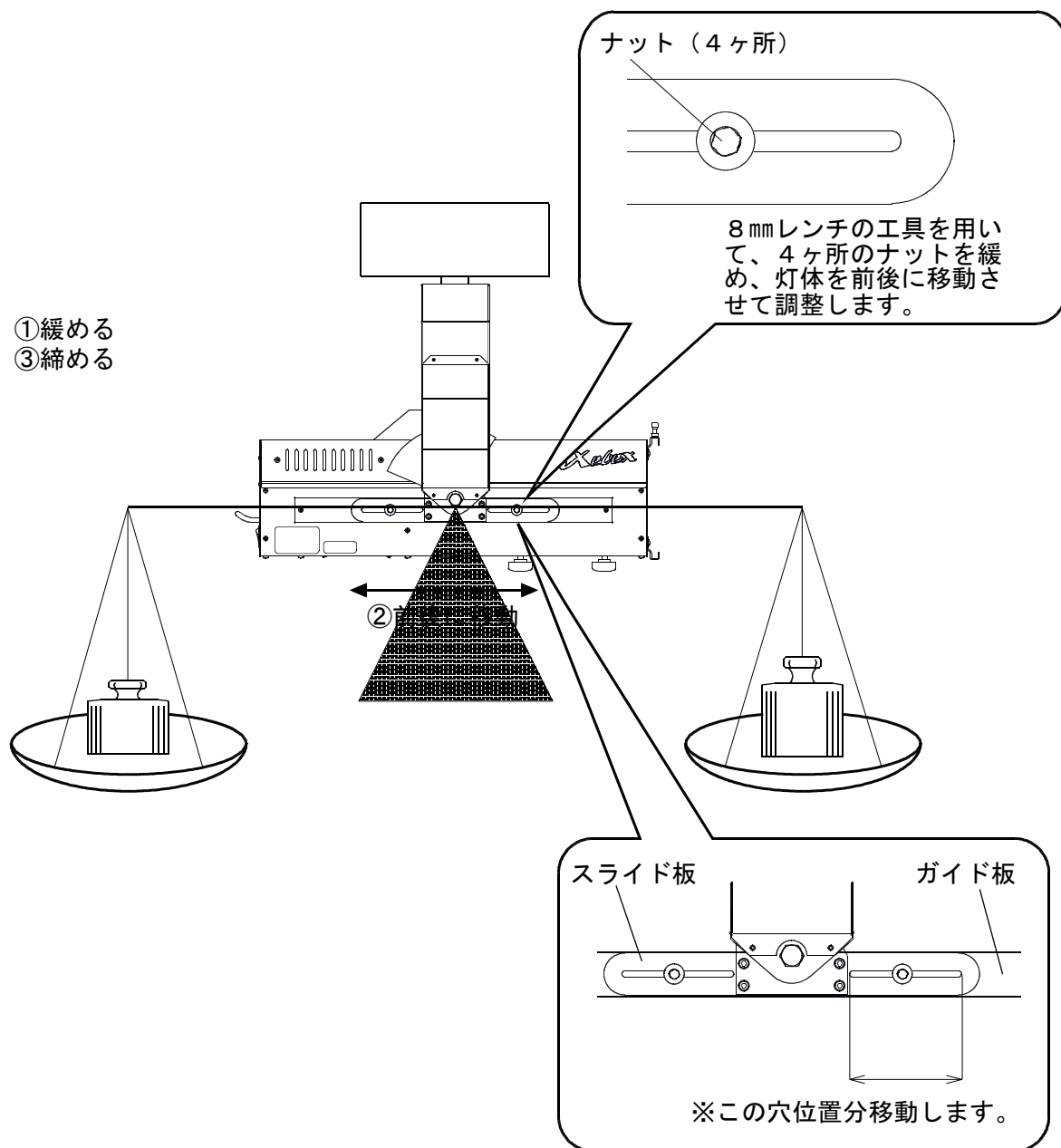
(7) 灯体のバランス調整

差し込み枠に機器を取り付けた場合など、灯体のバランスを調整します。

- ① 灯体バランス調整固定ネジ（4ヶ所）を均一に緩めます。
- ② 操作ハンドルを握り、およそ灯体のバランスが取れそうな位置に、灯体を前後に移動させます。

機器を取り付けた場合は、灯体を後ろへ移動させます。

- ③ 灯体バランス調整固定ネジ（4ヶ所）を確実に締めます。

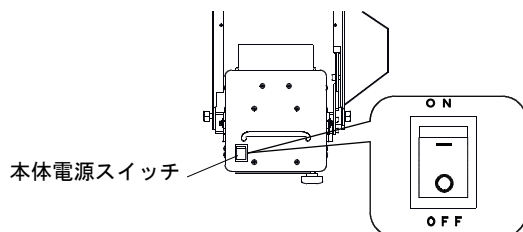


灯体質量は、約27kgあります。危険ですので、無理をせずに二人で作業してください。

7. 各部の操作方法

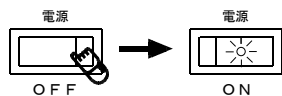
(1) 灯体

灯体の本体電源スイッチは、メンテナンス時以外は、通常ONのままにしてください。



(2) 専用コントローラー

〔全ての操作の開始〕



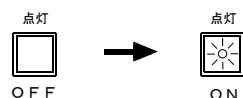
- ・電源スイッチをONにします（スイッチが照光）。
注）電源投入時は、メモリバンク切替スイッチがAの場合はメモリ1を、Bの場合はメモリ6を常に再生します。

〔通常操作〕



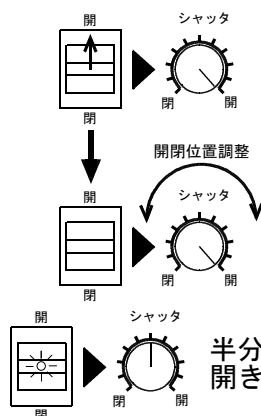
- ・キースイッチをコントロール側にします。
注）通常操作を行う場合は、常にコントロール側にします。

●点灯操作



- ・点灯スイッチを押すと灯体のLEDが点灯します（スイッチが照光）。もう一度押すと消灯します。
注）アイリスシャッターを閉じているとLED光は出ません。

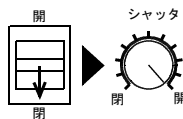
●シャッター操作



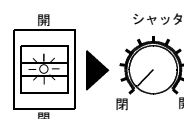
- ・シャッター開閉スイッチを開側に倒すとアイリスシャッターが開きます（スイッチが照光）。この時、シャッター開閉調整ボリュームの開位置まで、一定速度でアイリスシャッターが開きます。閉の時は、アイリスシャッターは閉じたままで電球も点灯しません。シャッター開閉スイッチを開にしたまま、アイリス開閉調整ボリュームを調整するとアイリスシャッターの径を開閉調整できます。シャッター開閉スイッチを閉側に倒すと一定速度で全閉します。



半分の径まで開きます。

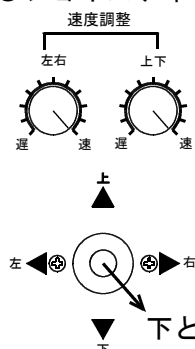


無条件で全閉します。



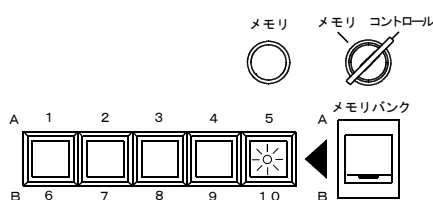
閉じたままです。ボリュームを調整すると開閉できます。

●ジョイスティック操作



- ・灯体を動かしたい方向へジョイスティックを倒します。ジョイスティックを倒している間、灯体を上下（TILT）、左右（PAN）方向へ動かすことができます。動作中または停止中のいづれでも、スピード調整ボリュームにより上下左右の速度調整ができます。また、ジョイスティックを斜めに倒すことで、上下／左右同時に動かすことができます。

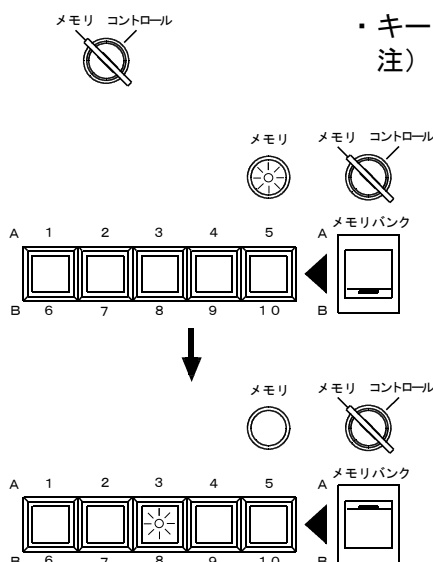
●メモリ再生操作



例) メモリ5 (メモリバンクA) を再生

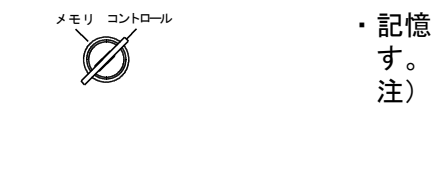
- ①再生させたいメモリバンク（AまたはB）を選択します。
メモリ1～5は、メモリバンクA、メモリ6～10は、メモリバンクBです。
- ②再生させたいメモリ（1～5または6～10）のメモリボタンを押します。選択したメモリボタンが照光し、最高速度で、そのポジションを再生します。

〔メモリ記憶操作〕



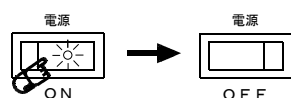
例) メモリ8 (メモリバンクB) に記憶

- ・キースイッチをメモリ側にします。
注) この状態でも、通常操作が行えます。
- ①記憶させたいポジションヘジロイスティックで操作します。
注) 記憶は、ポジション（PAN/TILT）のみです。
 - ②メモリスイッチを押します（スイッチが照光）。
注) この操作は、不用意な記憶操作を防止するために、1アクション追加したスイッチです。
 - ③記憶させたいメモリバンク（AまたはB）を選択します。
メモリ1～5は、メモリバンクA、メモリ6～10は、メモリバンクBです。
 - ④記憶させたいメモリ（1～5または6～10）のメモリボタンを押します。メモリスイッチが消灯し、選択したメモリボタンが照光します。この時点でポジションが記憶されます。記憶操作を繰り返す場合は、①から繰り返し操作します。



- ・記憶操作を終了する場合は、キースイッチをコントロール側にします。
注) この状態にすることで、メモリ記憶操作が行えなくなります。キーは、抜き差しができます。キーを管理することで、メモリ記憶操作の保護が行えます。

〔全ての操作の終了〕



- ・電源スイッチをOFFにします。
注) メモリ内容は、そのまま維持されます。

(3) 調光卓 (DMX卓)

一般の調光卓 (DMX卓) を使用することができます。メモリ機能のあるDMX卓であれば、ポジション記憶以外に、アイリスシャッタの開閉位置、電球のON/OFFも記憶操作できることになります。スピード調整は、フェードタイムの設定で制御できます。前述した”DMXファーストアドレス設定”及び”DMXアドレス仕様”を参照してください。

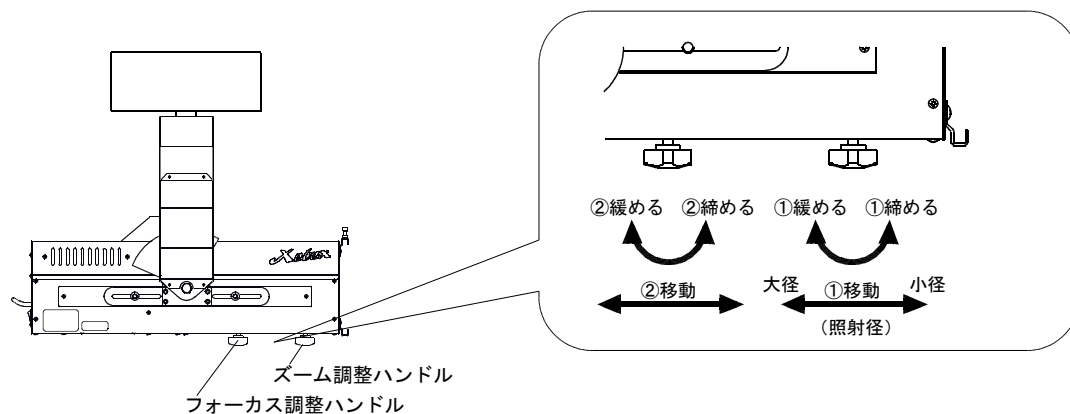
8. 光学調整

(1) ズーム／フォーカス調整

- ① ズーム調整ハンドルを回して（緩め）、前玉レンズを移動させ、希望する照射径に合わせ、ズーム調整ハンドルを締めます。

照射径は、前方へ移動すると小さくなり、後方へ移動すると大きくなります。

- ② フォーカス調整ハンドルを回して（緩め）、後玉レンズを移動させ、ピントが合う位置でフォーカス調整ハンドルを締めます。



【LED寿命について】

- ・LED寿命は点灯回数及び点灯間隔、点灯時間により左右されます。
照度が半分になるまでの時間は、およそ10,000時間です。
(常温25℃、IF=2.1A)

9. メンテナンス

(1) レンズおよび吸気孔／排気孔の清掃



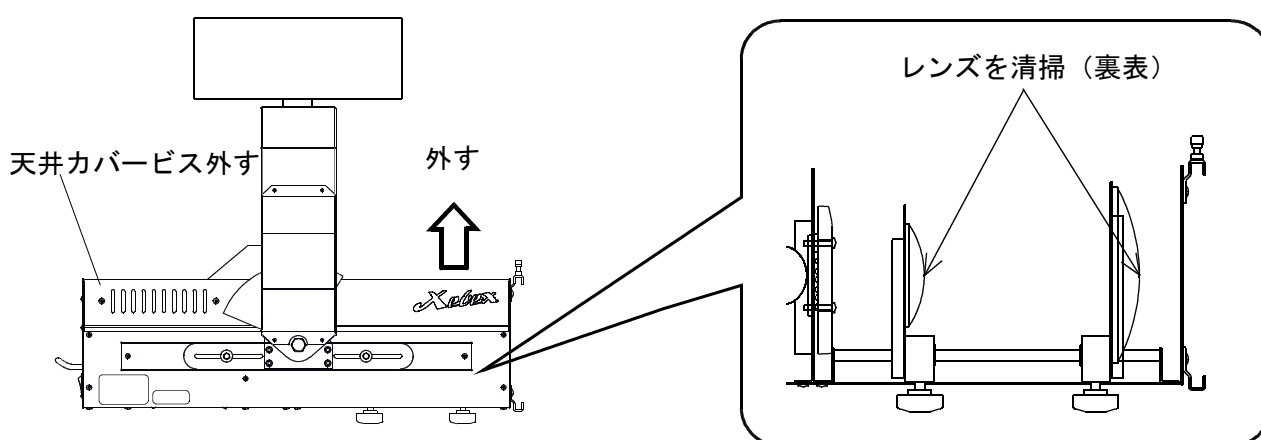
必ず灯体へ電源供給しているブレーカーをOFFにし、灯体の本体電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

安定した足場の上で作業し、上カバーを落下させないように注意してください。

レンズ（前玉、後玉）清掃において、住宅・家具用合成洗剤等を使用して清掃した場合は、乾いた柔らかい布で完全に洗剤を拭き取ってください。

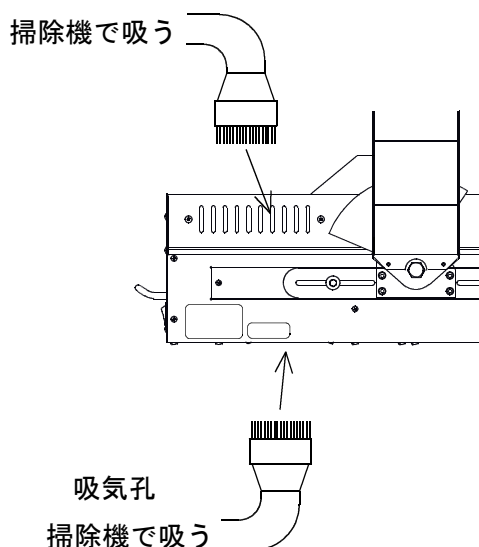
吸気孔／排気孔の清掃は、付着した埃などを掃除機等を使用して汚れを吸い取ってください。

☆レンズは、灯体の上カバーを外し、ピントの調整の要領で、清掃を行いやすい位置にレンズを移動してから清掃してください。清掃後は、確実に元に戻してください。

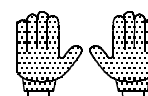


※全てネジですので、左に回すと緩み、右に回すと締まります。

排気孔（両側）





安全のため、作業手袋・軍手等を必ず着用し、決して素手で作業しないでください。




10. 故障診断

機器に異常が発生した場合、以下の確認・対処を行ってください。対処しても異常が修まらない場合は、故障と判断し、弊社へ修理依頼をお問い合わせください。


LEDが点灯しない

- ① 灯体の本体電源スイッチがONになっているか確認してください。
 灯体の本体電源スイッチをONにしてください。
- ② アイリスシャッタが開になっているか確認してください。
 アイリスシャッタを開いてください。


異常音を発生する

- ① 吸気孔および排気孔が埃等で汚れていないか確認してください。
 吸気孔および排気孔を掃除してください。


灯体が全く動作しない

- ① 灯体および専用コントローラーまたは調光卓へ電源供給されているか確認してください。
各々へ電源供給してください。
- ② 灯体のDMX信号モニターLEDランプ（緑）が点灯しているか確認してください。
 点灯していない場合は、専用コントローラーまたは調光卓の電源をONにするか、信号線の接続（コネクタ類など）を正しく行ってください。

灯体に変な動作をする

- ① DMXファーストアドレス設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。
 正しく設定し直してください。

専用コントローラーの電源スイッチがONにならない

- ① ヒューズが切れていないか確認してください。
 ヒューズを交換してください。

定期点検のお勧め

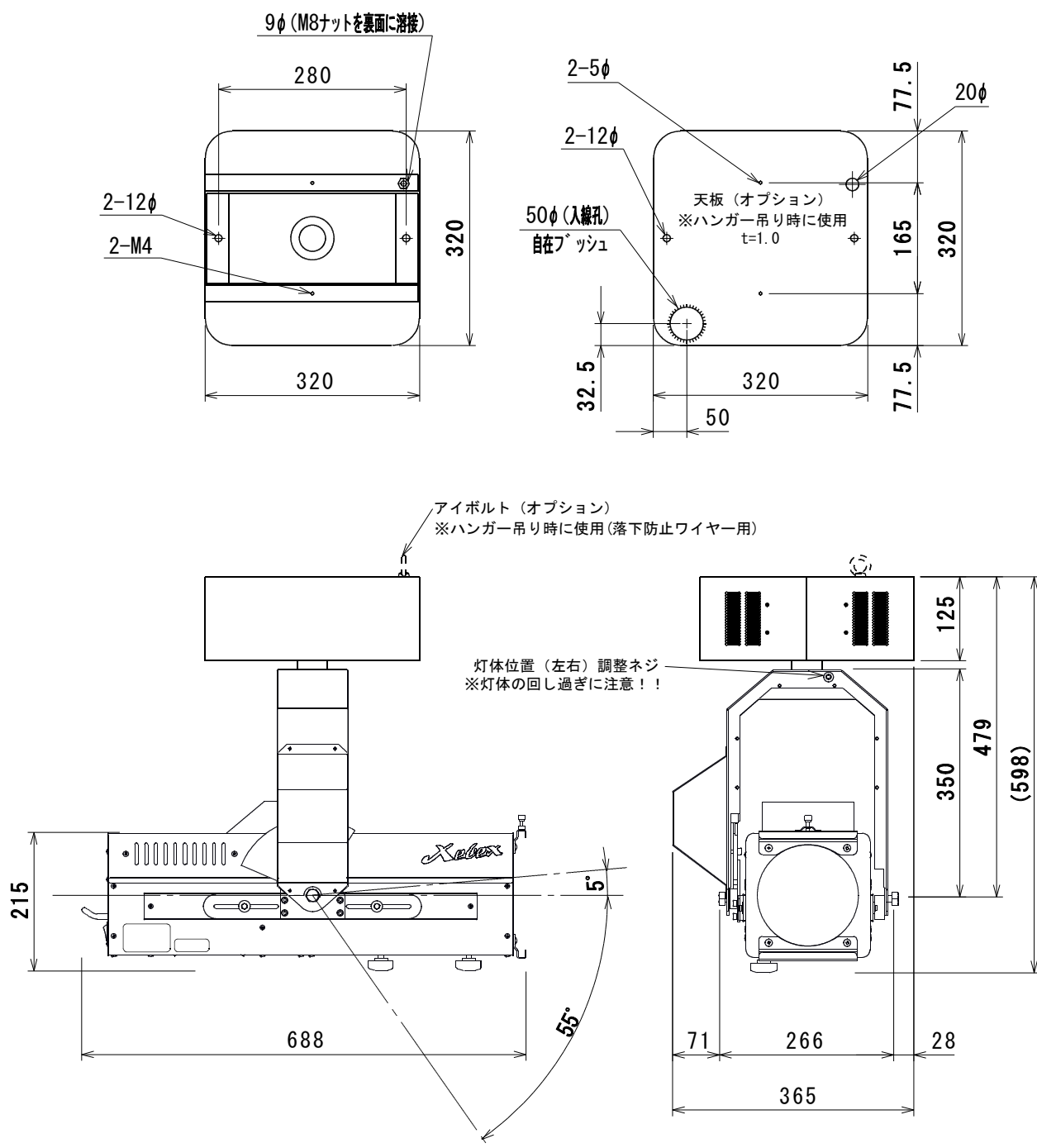
使用期間における経年変化または、ご使用状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお勧めします。定期点検については、弊社へお問い合わせ願います。弊社の専門技術者がお伺い致します。

修理依頼について

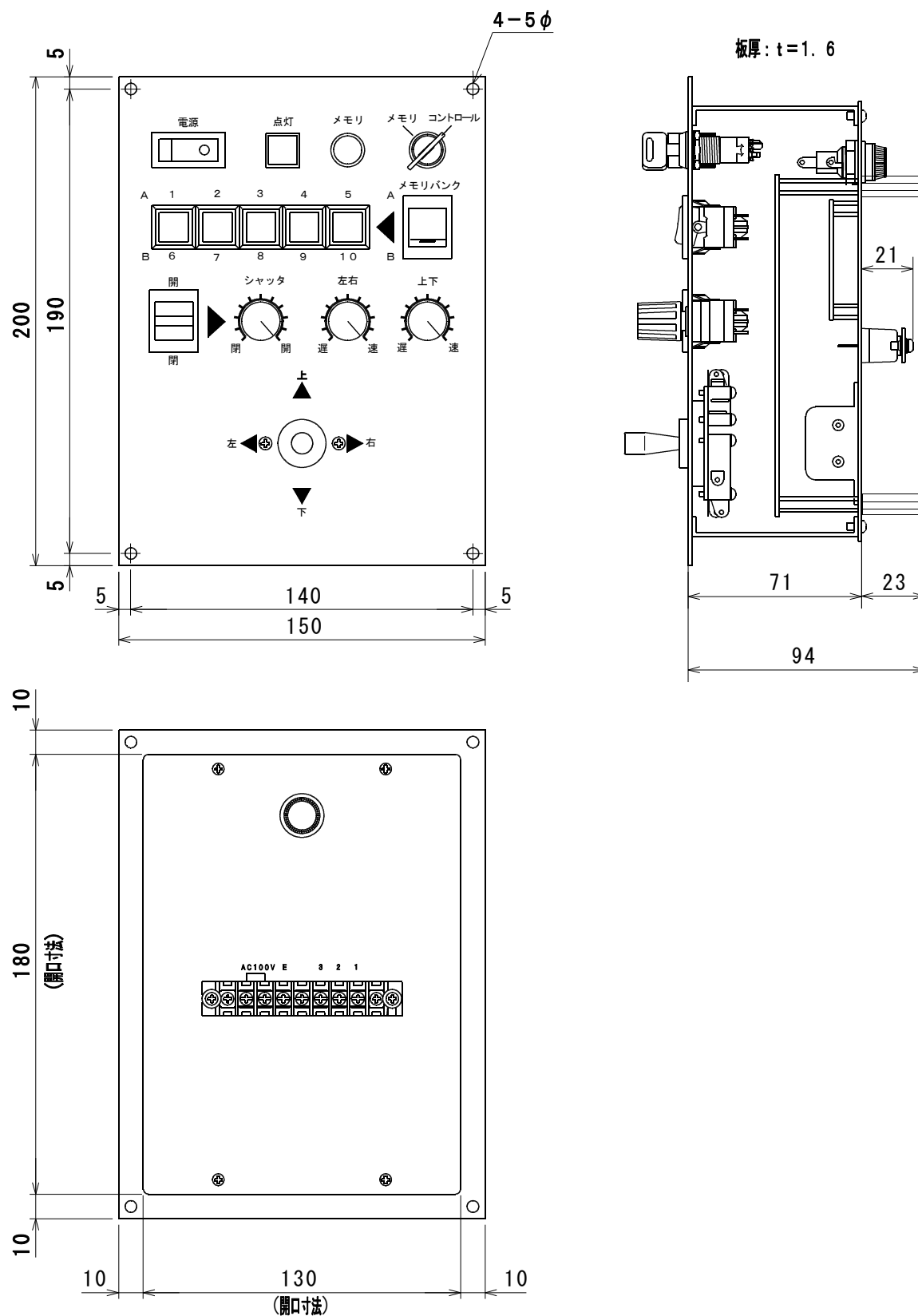
日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、およびその他の異常がある場合は弊社へ修理依頼をお願いします。弊社の専門技術者がお伺い致します。また、修理依頼される場合は、異常状態の確認、交換部品選定のため、次の点についてお聞かせください。

- ご購入年月日
- ご購入先代理店名
- 灯体の型式・製造年月・製造番号
- ご使用状況及び異常状態の詳細（取扱説明書に記載のNo.）

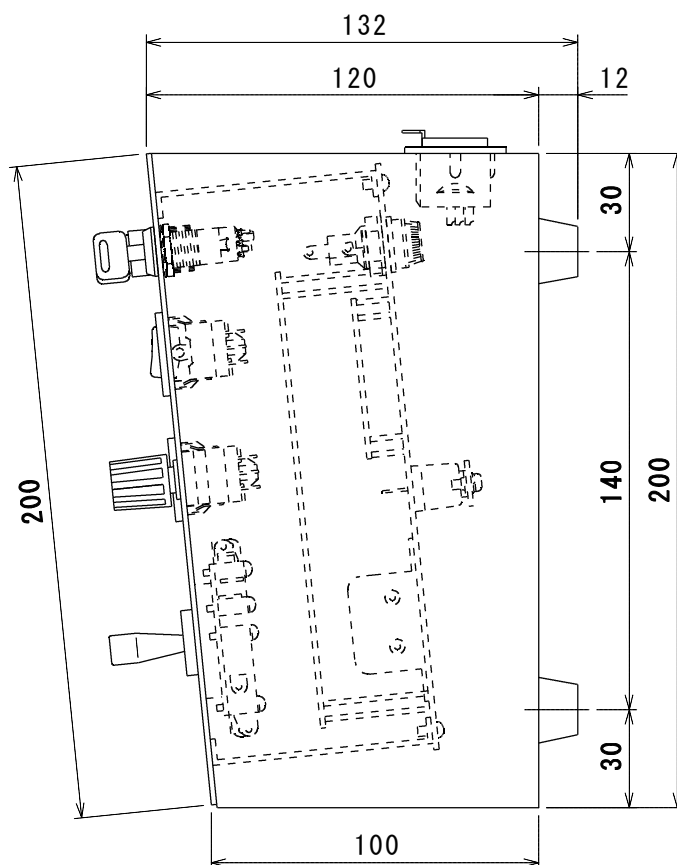
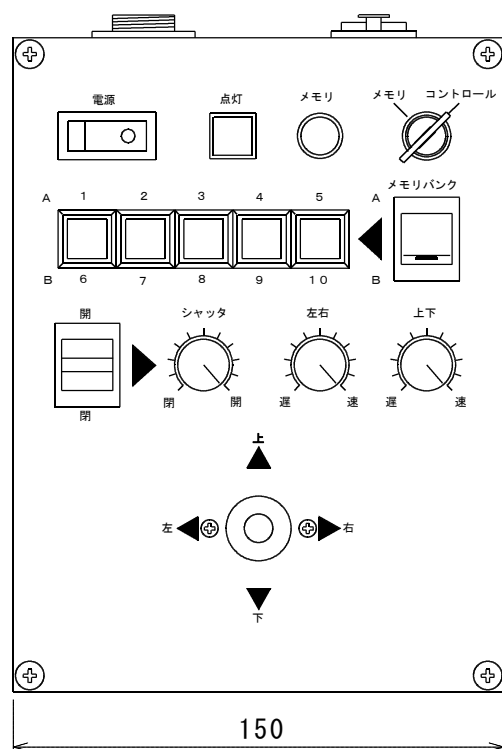
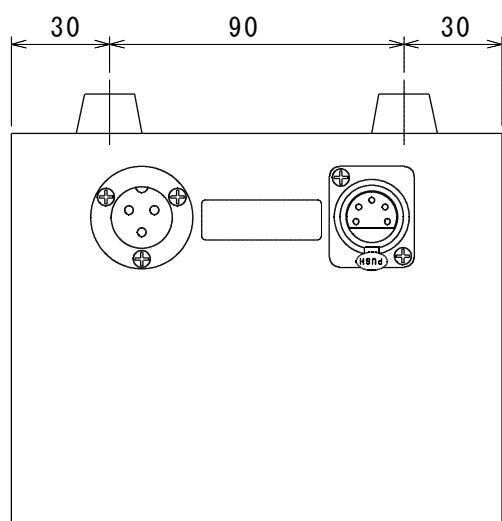
灯体外観寸法図 (LRC-200)



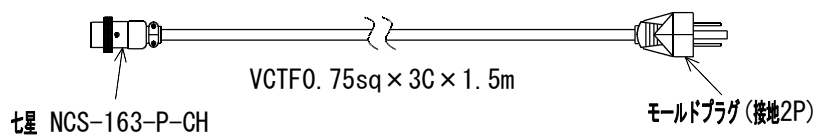
専用コントローラー外観寸法図 (URC/LRC-DCB)



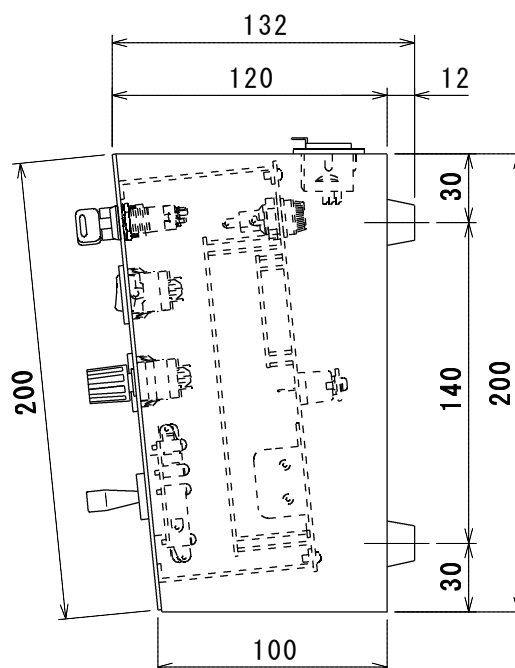
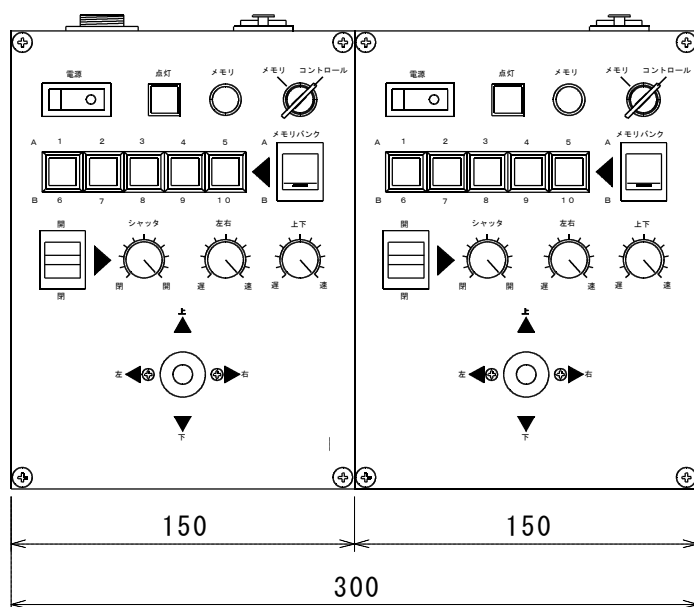
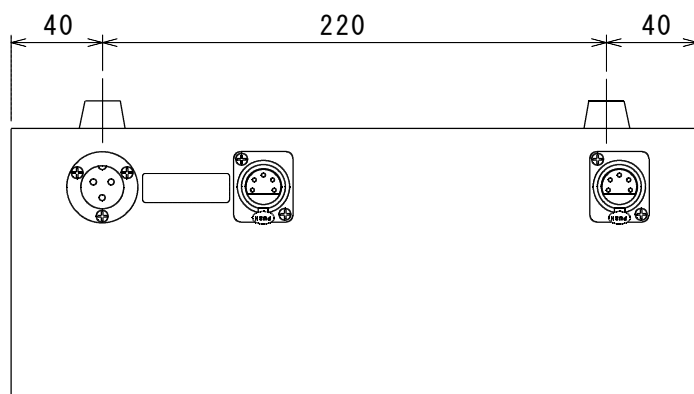
URC/LRC-DCB 1台収納BOX 外観寸法図



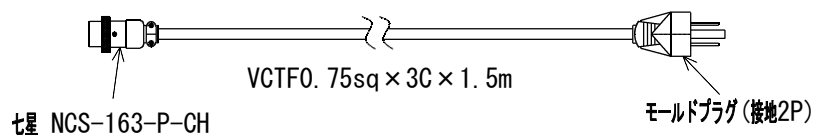
付属品：電源ケーブル×1 及び 4mmトラスネジ×4



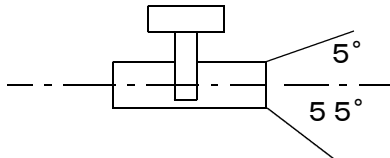
URC/LRC-DCB2 台収納BOX 外観寸法図



付属品：電源ケーブル×1及び4mmトラスネジ×8



1 2 . 主な仕様

機 器 構 成		主 な 仕 様		
灯体型名	LRC-200	定格電圧	単相100V	
		消費電力	205W	
		定格周波数	50/60Hz	
		入力電流	2.5A	
		最高周囲温度	40℃	
		最高表面温度	50℃	
		最小照射距離	0.3m	
		最小離隔距離	0.1m	
		使用角度範囲		
		入力ケーブル	電源ケーブル及び信号ケーブル：別途	
		接 続	端子台接続	
		本体質量	2.7kg	
		本体寸法	H598xW365xD686mm	
		照度データ 最大径は1.4倍以上	照射距離	最小照射径
			5m	1.10m
			10m	2.46m
			15m	3.50m
				照 度
				6,800 lx
				1,900 lx
				950 lx
		騒 音	距離1m 42dB以下	
		材 質	鉄板及びアルミ板	
		塗装色(マニル)	アイボリーホワイト5Y8/1	
		上下動作角度	水平より上向き5°下向き55°	
		上下動作速度	0.6°~8.1°/秒	
		左右動作角度	320°	
		左右動作速度	0.7°~9.4°/秒	
		アイリス開閉速度	3秒	
		制御信号	USITT DMX-512/1990	
		使用チャンネル数	6ch. (1: PAN, 3: TILT, 5: IRIS, 6: ランプ)	
		その他	調光電源接続可	
			DMXファーストアドレス設定可	
			DMX信号バッファリング/スルー	
			120Ωターミネータ必要	
(LEDユニット)	EXFS-W50M (LEDモジュール) (定電流モジュール) (AC/DCモジュール)	LED	白色(COBタイプ18×18)	
		全光束	11,775lm (IF=1,620mA)	
		色温度	5,000K	
		演色性	Ra80min (IF=1,620mA)	
		入力電圧	単相100V	
		定格周波数	50/60Hz	
		入力電力	160Wtype (IF=2.1A)	
		照明寿命	10,000H (常温25℃)	
			照度維持率50% (IF=2.1A)	
		質量	2.0kg以下	
		冷却方法	強制空冷	

機 器 構 成		主 な 仕 様	
専用コントローラー	URC/LRC-DCB	定格電圧	単相100V
		消費電力	20W
		定格周波数	50/60Hz
		入力ケーブル	電源ケーブル及び信号ケーブル：別途
		接 続	端子接続
		本体質量	1.4kg
		本体寸法	H200xW150xD92mm
		材 質	鉄板
		塗装色(マンセル値)	黒半ツヤN-1.0
		適合灯体型式	文字：ゴシック体（白） URC-1002D
		出力信号	USITT DMX-512/1990
		出力チャンネル	6ch. (DMXファーストアドレス設定可能)
		ポジション記憶数	10ポイント (MAX)
		電源投入時の再生メモリ	メモリ1またはメモリ6
		制御可能灯数	1灯（1対1）
		オプション	1台収納BOX (型式：URC/LRC-DCB/B1)
			付属品：電源ケーブル×1, 取付用ビス×4
			2台収納BOX (型式：URC/LRC-DCB/B2)
			付属品：電源ケーブル×1, 取付用ビス×8

ウシオライティング株式会社

東京本社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2-9-1 RBM東八重洲ビル5F TEL. 03 (3552) 8264(代)
大阪支店	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー6F TEL. 06 (7177) 4669(代)
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦1-16-20 グリーンビルディング5F TEL. 052 (218) 4520(代)
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-13-28 ウィトリアビル4階 TEL. 092 (411) 5945(代)